

# 学校だより No.14

校訓 ～心豊かに たくましく～

平成24年1月17日

鹿島市立七浦小学校  
文責 成富 健次



あけましておめでとうございます



第3学期始業式を1/10(火)に行いました。新年を迎えてのすがすがしさと心新たにがんばろうという思いが、背筋をぴんと伸ばして話に聴き入る子ども達の姿から感じられるようでした。校長からは、8日(日)に行われた鹿島市成人式へ参加しての感想をもとに、成人式を迎えたときにどのような思いを持ち、どのような態度で参加するかは、それまでの日々の積み重ねの姿で決まるという話をしました。家族、友だち、地域の方々などに支えられてきたことへ素直に感謝し、大人としての責任を自覚して社会に貢献できる人に成長して欲しいと思います。

## インフルエンザに注意・マスク着用をお願い

1/16日(月)には、鹿島市内の小中学校でインフルエンザによる50名以上の欠席者が出ています。特に東部中学校では38名が罹患し、2クラスが学級閉鎖となっています。本校でも発熱による欠席者が3名おり、今後はインフルエンザ罹患者が増えると予想されます。学校では、手洗いやうがいの励行、休み時間の窓開けなどをこれまで以上に行っていますが、できるだけ登校時からのマスク(使い捨てマスク)を着用させるご協力をお願いいたします。マスクを忘れた子どもには、学校で準備しているマスクを着用させます。また、発熱時には無理な登校をせず、早めに医師の診察を受けるようにしてください。

## 「光武文庫」への思い

1/14(土)に、光武福見様のご逝去されたとの悲しい連絡を受けました。茨城県土浦市にお住まいの光武福見様は、七浦小学校の卒業生であることから、本校の子ども達のためにと昭和49年の創立百周年を機として、現在に至るまでの長年にわたり多額の寄付を続けてくださり、図書、体育館緞帳、エレクトーン、テレビなど、学校の設備、教具、教材の充実が図られてきました。本校図書室が、大きな学校にも負けない蔵書数を誇るのも、光武様からいただいた図書(「光武文庫」とよんでいます)が数多くあるからです。今後も、「光武文庫」を大切にしながら、読書が大好きな子ども達を育てていきたいと考えています。光武様ご葬儀には、七浦小学校児童・保護者・職員一同名で、弔電と供花を送らせていただきました。弔電内容は、以下の通りです。

ご逝去の報に接し、謹んで哀悼の意を表します。

光武福見様は、昭和11年に七浦小学校を卒業後、戦中、戦後の困難な時代をたくましく生き抜き、事業家として大成されました。昭和49年の七浦小学校創立百周年を機に、毎年多額の寄付をいただき、図書、体育館緞帳、校旗、テレビ等々を購入させていただいています。特に図書につきましては、これまでに約7,000冊もの寄贈をいただき「光武文庫」として、子ども達の読書活動の支えとなっています。今年も「一人百冊以上の読書」を目標に、本に親しみ、本から学ぶ子ども達が育っています。「光武文庫」の本一冊一冊には、光武福見様の故郷への熱い思い、次代を担う子ども達へのエールがこめられています。

これまでのご厚情に深く感謝するとともに、これからも「光武文庫」を七浦小学校の宝として、子ども達のために活用していくことをお約束いたします。

故人のご冥福を心よりお祈りいたします。

鹿島市立七浦小学校

児童・保護者・職員一同